

# 道産きのこ生産履歴管理の手引

## ～トレーサビリティシステムの導入に向けて～

### トレーサビリティシステムの導入に向けた取り組み

#### <<導入の必要性>>

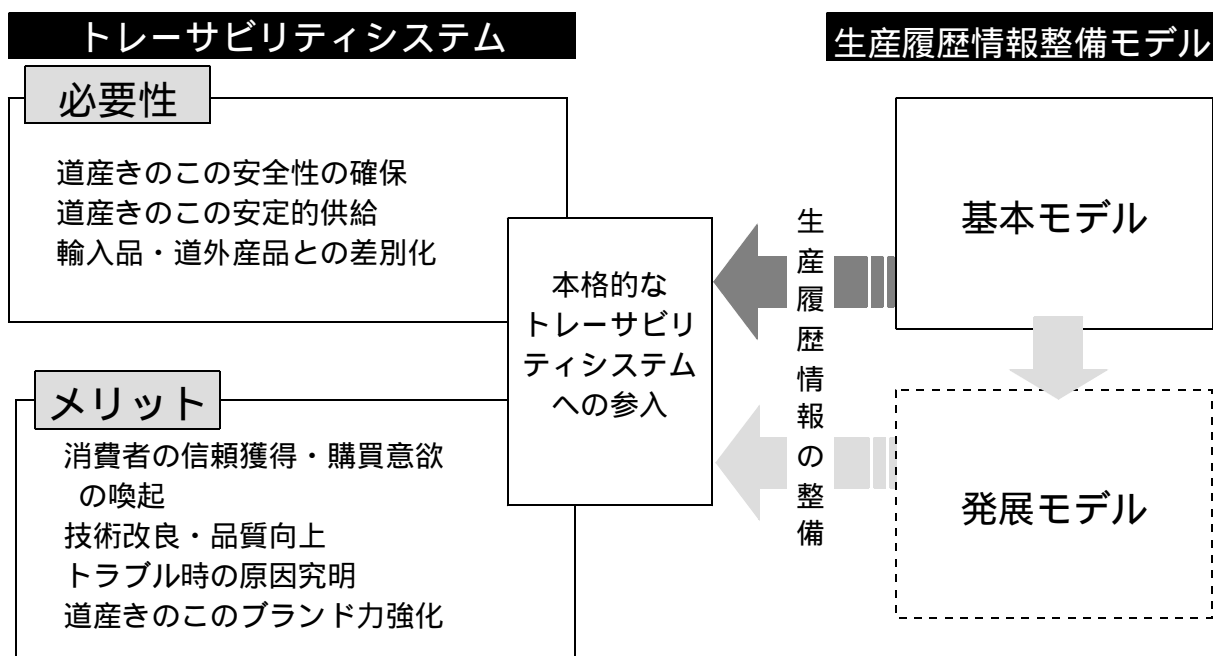
近年、BSE問題や食品の偽装表示事件など食の安全を揺るがす問題が次々と発生し、食品全体への信頼回復が緊急の課題となっている中で、トレーサビリティシステムが食品に対する信頼確保に有効な手段として着目されています。

牛肉については法律の整備により導入が進んでいるほか、他の食品でも導入に向けた取組が全国各地で行われ、流通業界では一部の大型小売店で野菜・きのこなどを対象に、生産から販売までの一貫したシステムを試験的に導入しています。

こうした中、より安全なきのこを消費者へ届けるため、きのこ生産者にも衛生管理体制の確立と生産情報の記録管理が必要とされています。

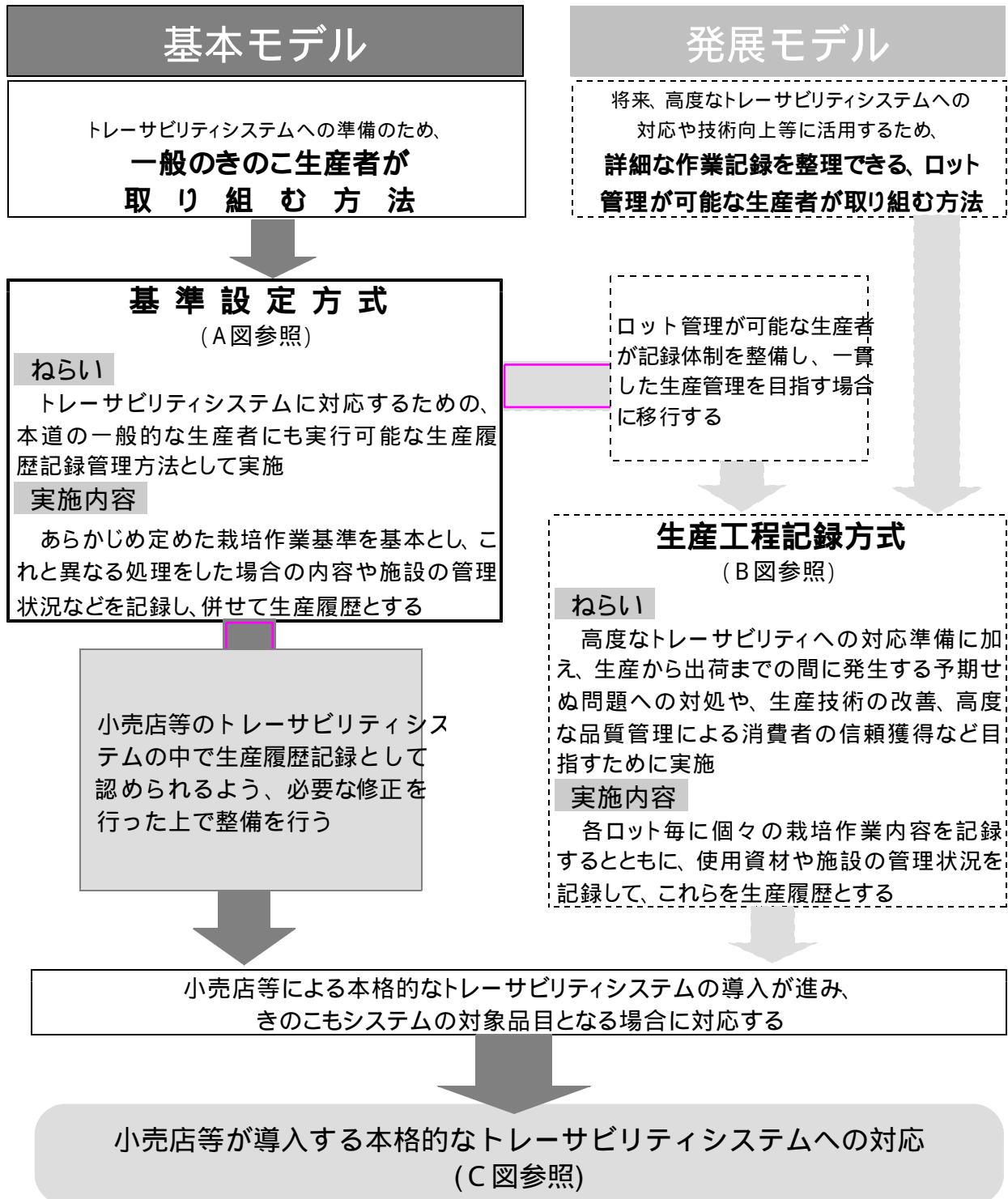
#### <<基本的な考え方>>

当面は、生鮮食品を対象としたシステムが小売店で本格稼働するまでの間に、きのこ生産者も参加できるような体制を整えておくことが重要です。このため、生産者の経営実態に配慮し、生産者が単独でも実施できるような道産きのこ生産履歴情報の整備モデルを策定しました。



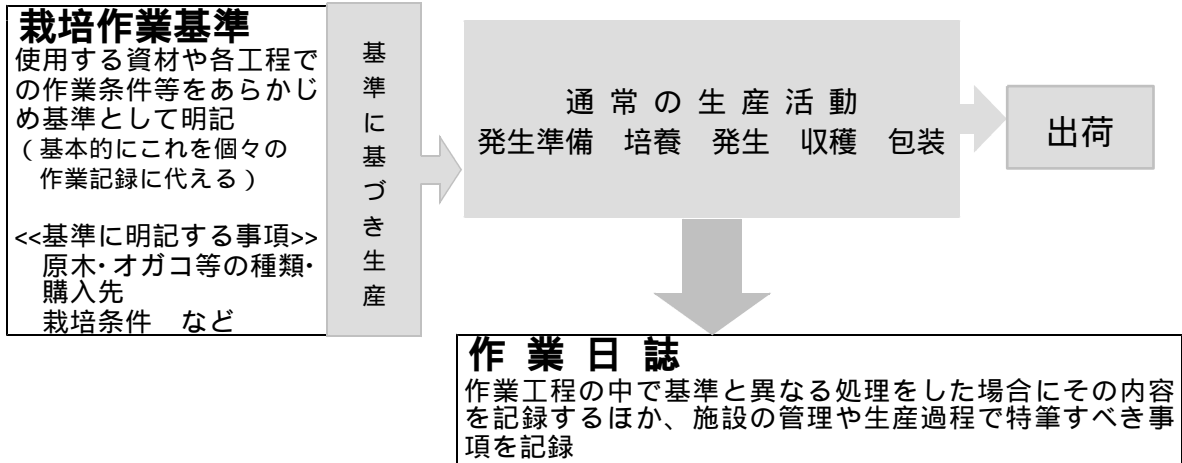
## 生産履歴情報の整備モデル

これらのモデルは、きのこ生産者が本格的なトレーサビリティシステムへ参画する準備を整えるためのものです。本道の一般的なきのこ生産者が取り組む標準的方法は基本モデルで、これにより、きのこ生産者は少ない労力で履歴情報を管理することが可能です。また、発展モデルは、ロット単位での管理が必要となりますが、将来の高度なトレーサビリティシステムへの対応や技術向上等に生産履歴情報を活用することが可能となります。

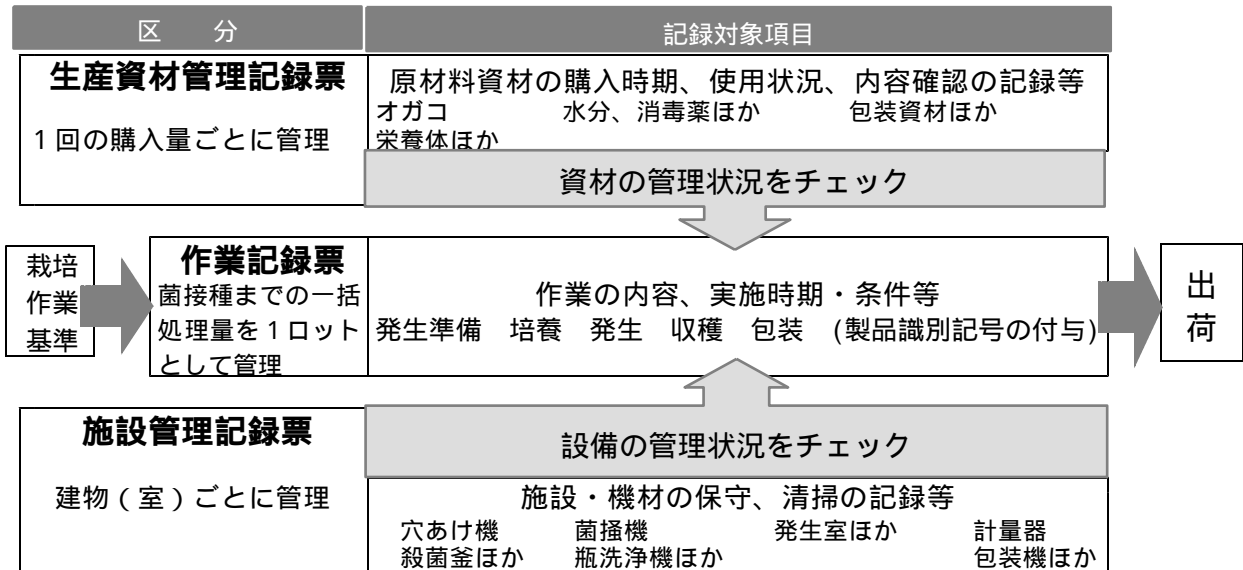


## 生産履歴の管理方法

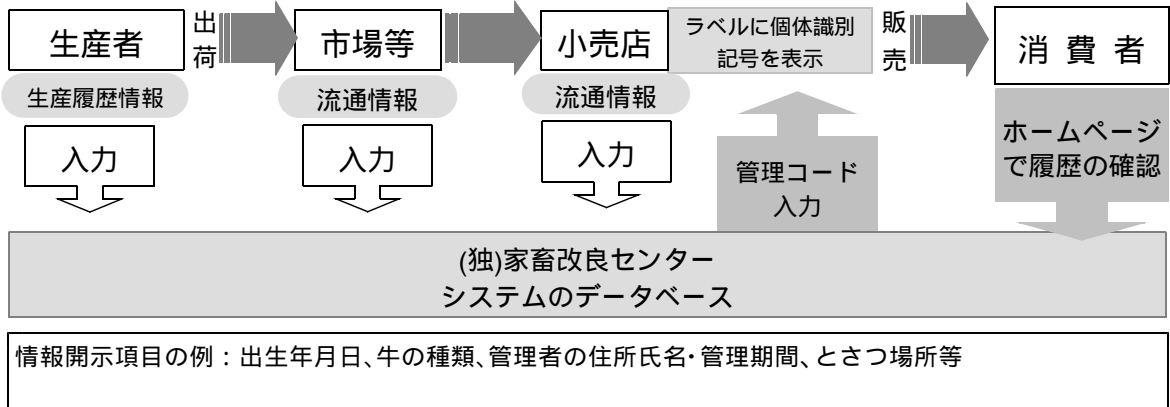
### A図 基本モデル<基準設定方式>による生産履歴の管理例



### B図 発展モデル<生産工程記録方式>による生産履歴の管理例



### C図 本格的なトレーサビリティシステム（参考：牛肉での実施例）



## 1. 基本モデル 基準設定方式 一般的な生産者が取り組む簡易な記録方式

小規模な生産者でも実行可能で履歴管理の標準となる記録方式です。日々の生産では作業手順や作業内容がほぼ一定であると仮定して、この方式では栽培基準・使用資材等の条件を生産履歴の基本として定め、毎日の生産履歴記録の負担をできるだけ少なくし、一時的に基本と異なる条件で作業した場合は、その変更内容を記録して生産履歴を管理します。

<<記録票>>

### (1) 栽培作業基準

生産するきのこの種類毎に、発生準備から出荷までの標準的な工程や温度条件や使用資材などを明記し、通常の実産における生産履歴とします。

### (2) 作業日誌

一時的に作業条件や使用資材などについて栽培作業基準と異なる処理をする場合にはその変更内容を記録するとともに、施設の清掃・補修などの保守作業や停電など生産過程での突発的事項を記録し、栽培作業基準と共にきのこの生産履歴とします。

## 2. 発展モデル 生産工程記録方式 生産技術向上等に反映できる詳細な記録方式

ロットによる管理が可能な生産者を対象とした、基準設定方式を発展させた詳細な生産履歴を記録する方式です。各ロット毎に個々の栽培条件や作業内容を記録するとともに、使用資材や施設の維持管理状況を記録して生産履歴を管理します。方法としては生産者への負担を少なく処理するため、常時記録する「作業内容」と必要に応じて記録する「原材料資材」や「施設・機材」を分けて記録します。この方式では、より高度なトレーサビリティシステムへの移行のほか、予期せぬ問題の原因究明、生産技術の改善などに生産履歴を活用することが可能です。

<<記録票>>

### (1) 栽培作業基準

基本モデルの記録票と同じですが、技術向上など必要に応じて詳細な作業条件を明記します。

### (2) 作業記録票

一度に植菌する菌床の数量を生産管理上の1単位(ロット)として捉え、1ロット毎に作業の内容と実施時期、使用する資材などを記録する、生産履歴の基本となるものです。日々の生産状況を記録・保存することで、安全確認だけでなく各自の生産手法の検証にも役立てることが期待できます。

### (3) 生産資材管理記録票

生産から出荷までに必要な全ての資材について、各資材毎に購入先・時期・数量、各生産ロットでの使用量を記録します。資材面での履歴確認や生産過程で発生する問題解決などの手がかりとします。

### (4) 施設管理記録票

施設・機器の保守点検・修理・消毒などについて施設毎に実施者・実施時期などを記録し、生産過程で発生する問題解決などの手がかりとします。

### <参考> 予期しない問題が発生した時の対応(活用)例

